

別紙2 各教科等の指導における感染症対策について

1 共通事項

- (1) 児童生徒の「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っただけの発声」について、可能なものは避け、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、また回数や時間を絞るなどして実施する。
- (2) 複数の児童生徒が共用で教具（実験器具、体育器具、用具等）を使用する場合、適切な消毒、手洗いの徹底を行う。また、可能な限り一人一つずつ教具の準備を行う。
- (3) 探究学習におけるフィールドワーク等、外部の方と交流する場合、電話やFAX、Web会議システム等を活用する。
- (4) 室内で児童生徒が密集して長時間活動するグループ学習は、年間の指導順序を変更する。また、教師による適切な事前・事後指導と家庭における学習の組合せによる指導計画を立案する。

2 音楽科

- (1) 室内で児童生徒が近距離で行う歌唱指導や集団での合奏等、身体の接触を伴う活動等の年間の指導順序を変更し、楽曲を聞く、曲を創作するなどの活動を優先して行う。
- (2) 動画を活用して、歌唱や楽器の指導を行う。
- (3) 音楽室では人の密度が低い状態でも換気に努めるようにする。

3 家庭科、技術・家庭科

- (1) 集団で行う調理実習等は、年間計画の後半に変更する。または、動画で調理方法を説明し家庭で実践して、レポート作成や調理の撮影をし、教室などで見合う。
- (2) なるべく座学の授業を優先的に行う。
- (3) 向かい合う活動にならないようにし、同じ方向を向いて実施する。換気を十分に行う。
（調理実習・裁縫・技術）
- (4) 実習室だけでなく教室でもできる活動は児童生徒を2つのグループに分けて行う。指導が必要な場合は書画カメラや電子黒板などを活用する。

4 体育科、保健体育科

- (1) 児童生徒が密集する運動や近距離で絡み合ったり接触したりすることが多い運動等は、年間の指導順序を変更し、個人でできる種目やネットを挟んだ種目などを優先して行う。
（例）・陸上－間隔を取り、短・長距離走及びハードル走などの走運動と走り幅跳び及び走り高跳びなどの跳運動。
リレーについては、バトンを使用しないなどの工夫。
 - ・ダンス－体育館をいくつかのグループに分け、個人で演技。動画を撮影し見合う。
 - ・テニス、卓球、バドミントン－用具を共有せず、シングルで対戦。
- (2) 可能な限り授業を屋外で実施する。ただし熱中症に注意する。集合、整列する際は児童生徒の間隔を十分に確保する。
- (3) 体育館等では、人の密度が低い状態でも換気に努めるようにする。

5 職業科（実習）

- (1) パソコンを使う実習は、向かい合わせにならないようにレイアウトを変更して行う。（商業）
- (2) 同じ器具を使う場合は、手洗いを徹底し、適切に消毒する。（商業・工業・農業）
- (3) 屋内での実習作業は密にならないように人数を制限し、換気を十分にしているように行う。（工業・農業）
- (4) 見学することも学習と捉えて、実習の様子をライブ映像で流し、教室で見学する。（授業の前後半、または時間を決めて交代で行う）